

2013年度経営プラン Q3フォロー

2014年2月12日
古河電気工業株式会社
取締役 兼 執行役員専務
櫻 日出雄

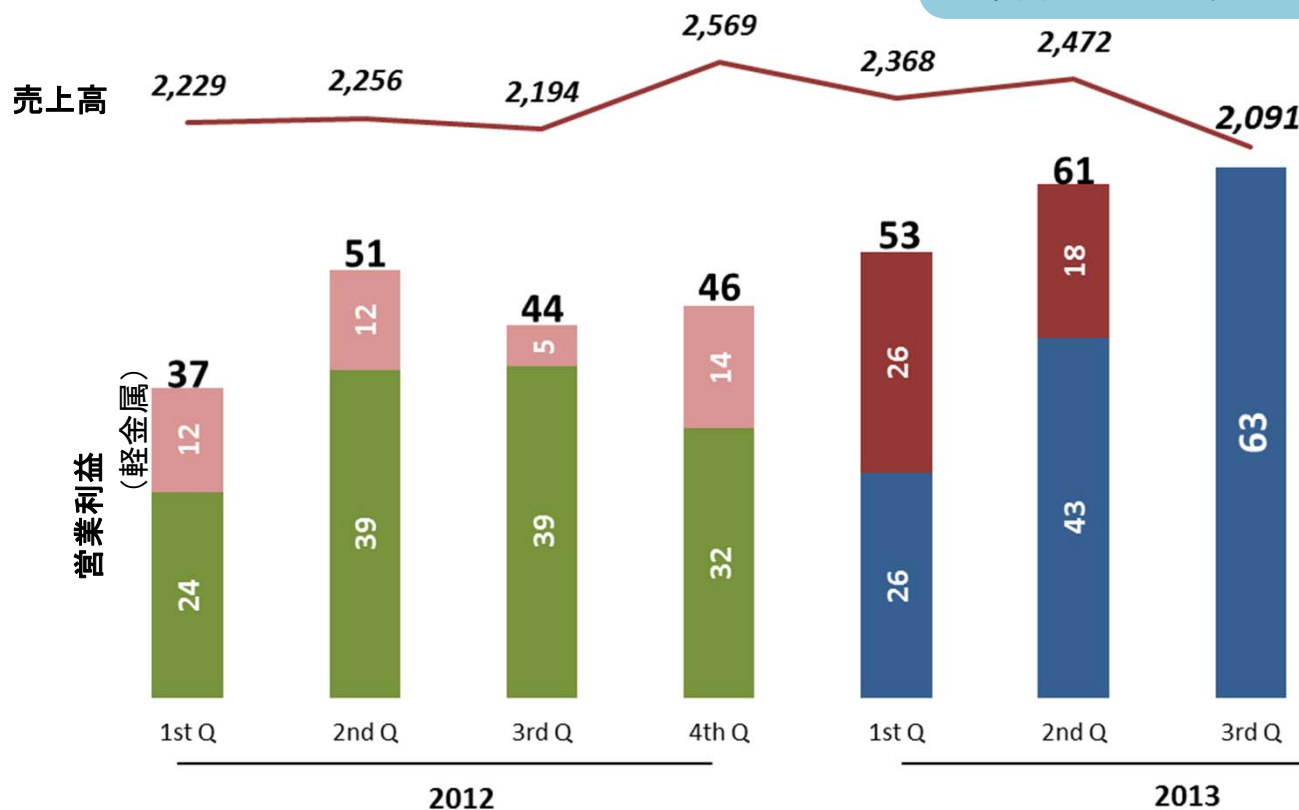
1. 第3四半期決算 ハイライト

(単位:億円)

- 前年同期累計比で営業利益 34%up
- 第3四半期から旧古河スカイ(現UACJ)が連結子会社から持分法適用会社へ移行

■ 前年同期累計比

- ・売上高 6,679億円 ⇒ 6,932億円(+3.8%)
- ・営業利益 131億円 ⇒ 176億円(+34.2%)

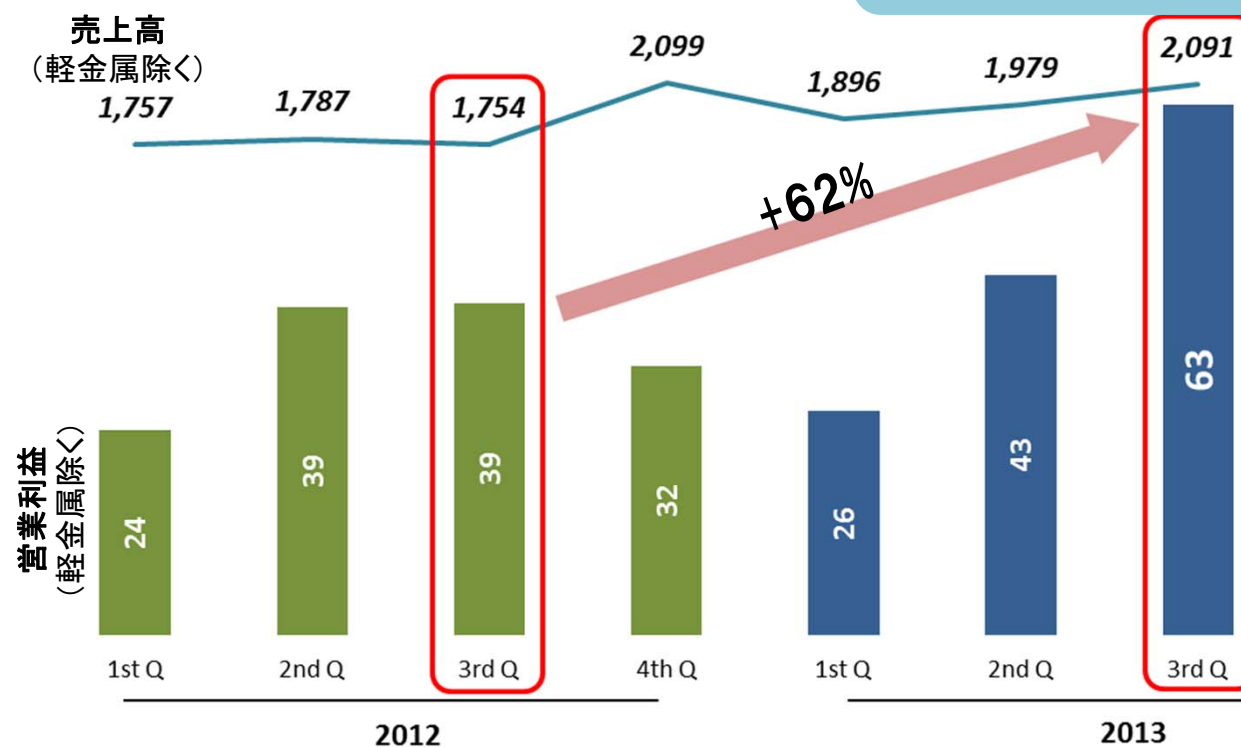


1. 第3四半期決算（除く軽金属）

(単位:億円)

- 第3四半期単期では、前年同期比で売上高19%up、営業利益62%up
- 情報通信、電装・エレクトロニクスが増益に寄与

- 前年同期比(軽金属除く)
 - ・売上高 1,754億円 ⇒ 2,091億円(+19.2%)
 - ・営業利益 39億円 ⇒ 63億円(+61.5%)



1.第3四半期決算 累計P&L

P&L	FY2012 3rd Q 累計	FY2013 3rd Q 累計	増減	増減の内訳 (単位:億円)
	A	B	B-A	
売上高	6,679	6,932	+253	P7参照
			+3.8%	
営業利益	131	176	+45	P8参照
			+34.2%	
経常利益	123	212	+88	為替差益+6(10⇒16)、持分法利益+20(7⇒27)、貸倒引当金戻入+10など
			+71.4%	
特別損益	-20	-76	-56	減損-26(-3⇒-29)、事業構造改革-24(-4⇒-28)など
法人税等・調整額	-46	-49	-2	
少数株主損益	-16	-16	-1	
当期純利益	41	71	+29	
			+70.9%	
銅建値(円/Kg) 平均	669.2	752.4	+83.2	
為替(円/ドル) 平均	79.39	96.83	+17.44	

1.第3四半期決算 B/S

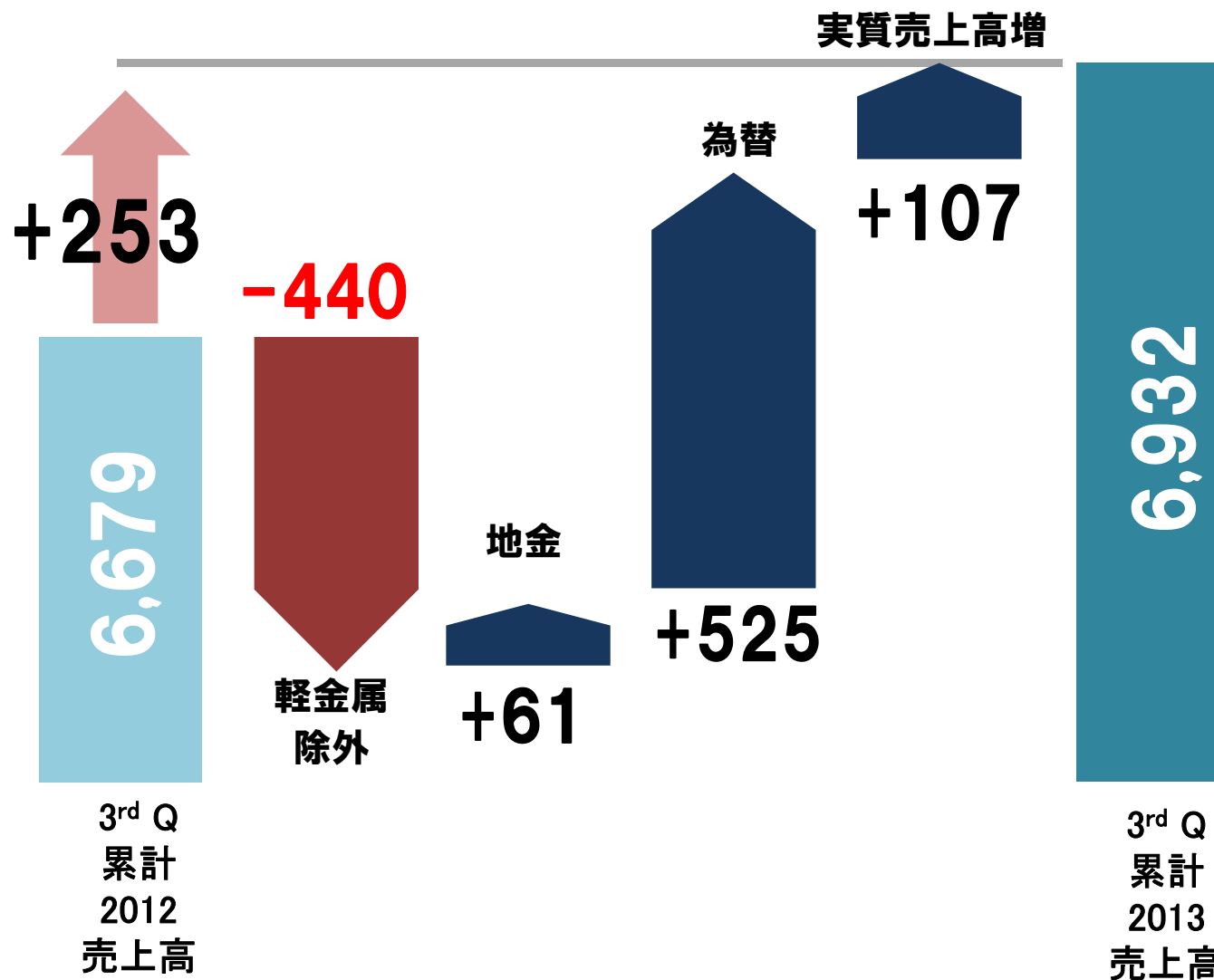
B/S	e/FY2012	e/FY2013 3rd Q	増減	(単位:億円) 増減の内訳
	A	B	B-A	
総資産	8,197	7,365	-832	軽金属の除外 -1,663 その他 +830; 現預金、売掛金、 棚卸資産、有形固定資産の増加、 円安と新規連結の影響
有利子負債	3,205	3,010	-195	軽金属の除外 -707 その他 +512; 運転資金及び有形 固定資産の増加、円安、新規連 結の影響
自己資本比率	20.2%	25.1%	+4.9%	
D/Eレシオ	1.93	1.63	-0.30	
総資産回転率 (年換算売上高/総資産)	1.13	1.26	+0.13	
ROA (年換算経常利益/総資産)	2.1%	3.8%	+1.7%	

1.第3四半期決算 B/S（除く軽金属）

B/S	e/FY2012	e/FY2013 3rd Q	増減	(単位:億円) 増減の内訳
	A	B	B-A	
総資産	6,534	7,365	+830	現預金、売掛金、棚卸資産、有形固定資産の増加、円安と新規連結の影響
有利子負債	2,497	3,010	+512	運転資金及び有形固定資産の増加、円安、新規連結の影響
自己資本比率	25.4%	25.1%	-0.3%	
D/Eレシオ	1.51	1.63	+0.12	
総資産回転率 (年換算売上高/総資産)	1.13	1.08*	-0.05	※年換算売上高は、上期の軽金属を控除して算出
ROA (年換算経常利益/総資産)	2.1%	3.8%	+1.7%	

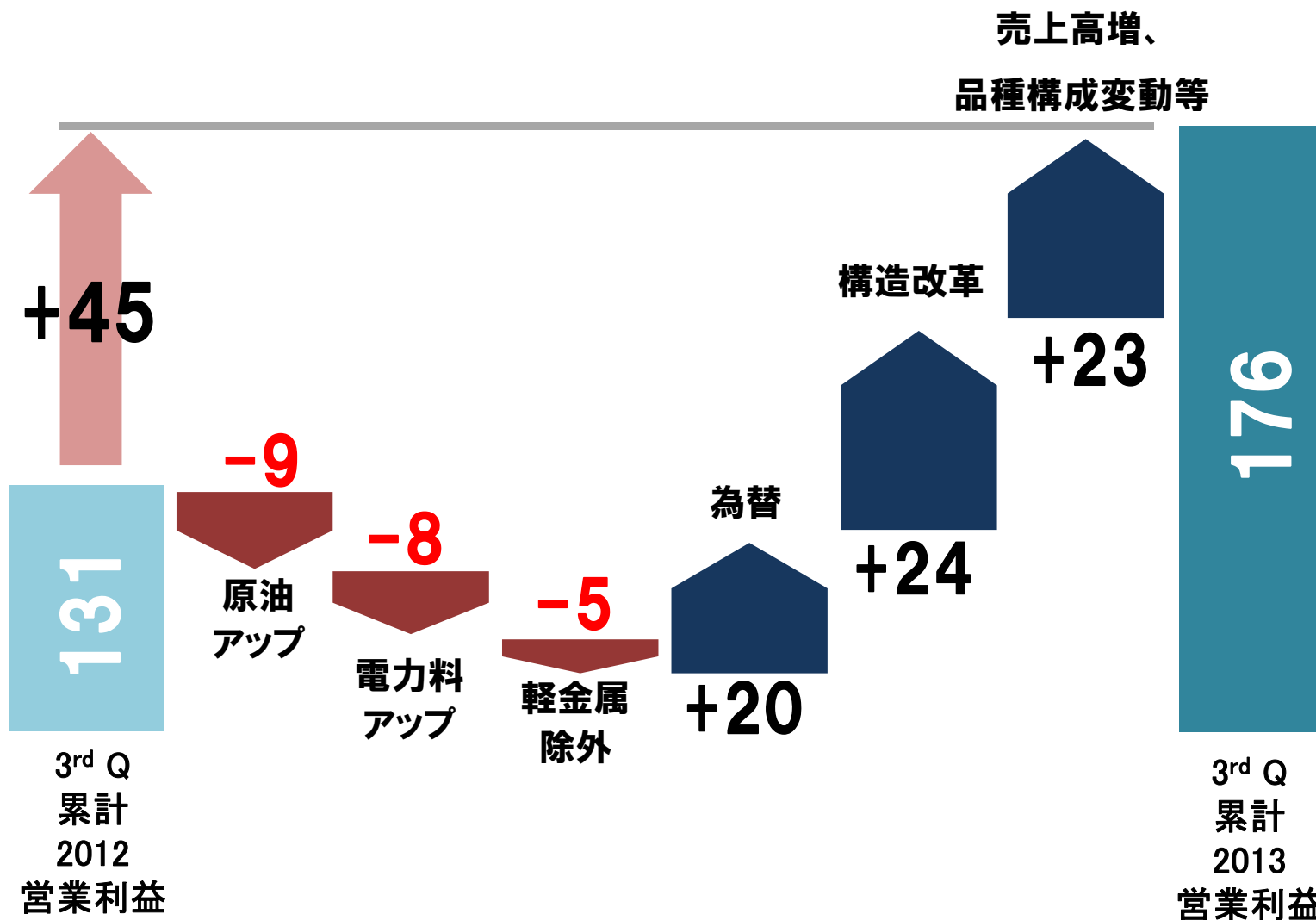
1.第3四半期決算 売上高増減要因

(単位:億円)



1.第3四半期決算 営業利益増減要因

(単位:億円)

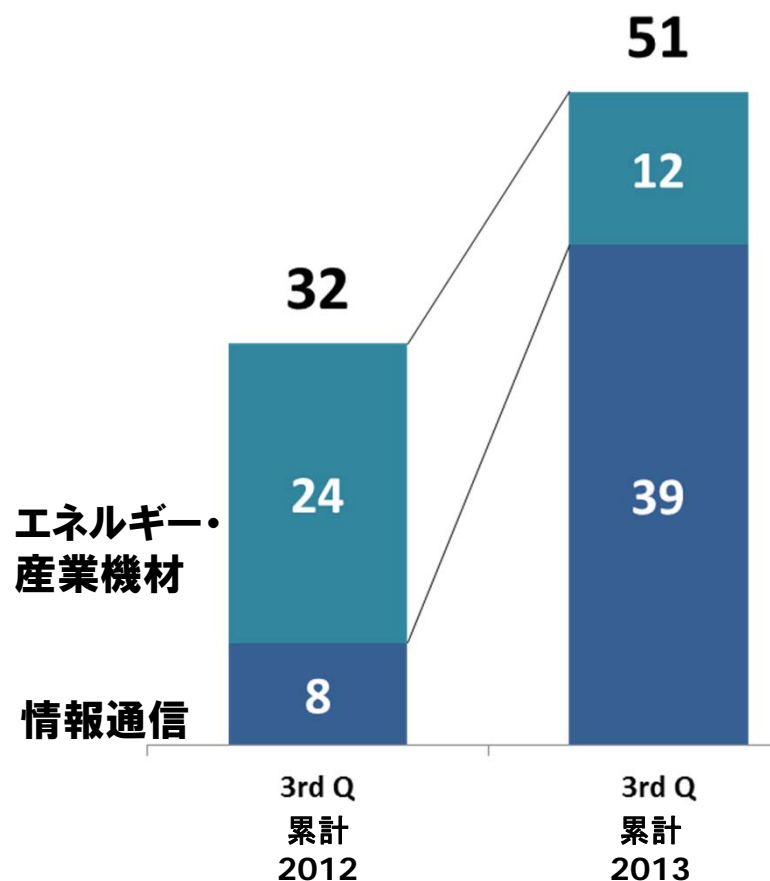


1.第3四半期決算 セグメント別営業利益 (前年同期累計比)

(単位:億円)

伝送インフラ系

Transmission infrastructures



【情報通信】 8 ⇒ 39(+31)

■ 光ファイバ・ケーブル 14 ⇒ 22(+8)

- (+)南米でのLANソリューションが好調を維持
光ケーブルの国内需要が堅調
輸出ファイバは数量減だが、円安効果で採算性が向上
- (-)北米での通信プロジェクトの低調が継続
中国での需要伸び悩み

■ フォトニクス・ネットワーク -6 ⇒ 17(+23)

- (+)中国・国内向け光デジタルコヒーレント関連売上が拡大
モバイル通信システム需要が復調
タイでの3G携帯電話工事の拡大

【エネルギー・産業機材】 24 ⇒ 12(-12)

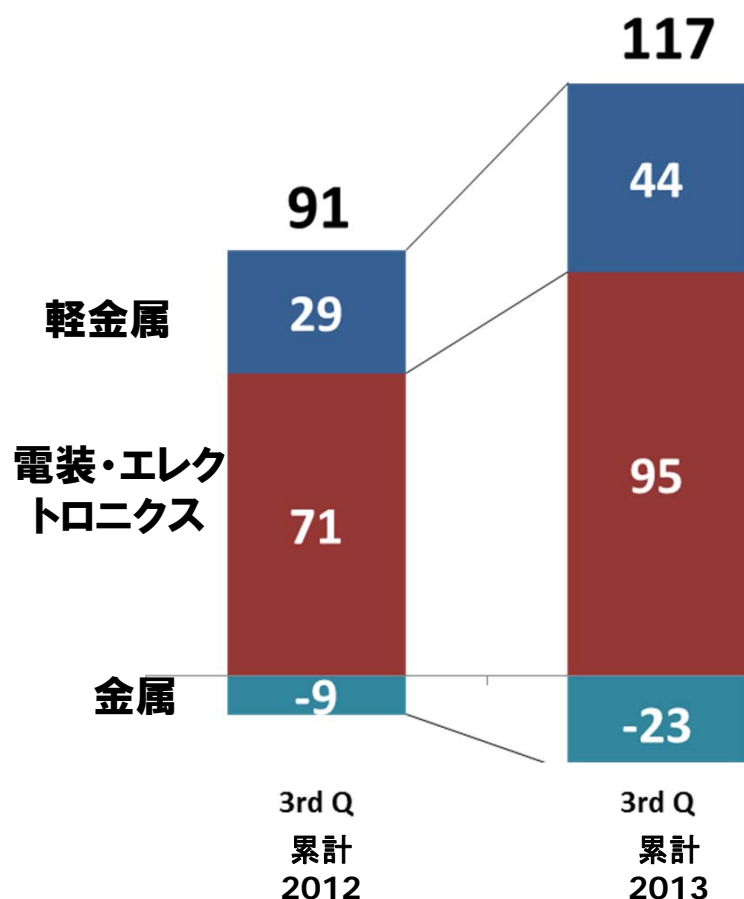
- (+)グリーントラフ等の管路材の需要が堅調
半導体製造用テープは好調を持続
- (-)中国・国内電力会社向けの需要が低迷
液晶TV市場の需要急減により、MCPETの売上激減

1.第3四半期決算 セグメント別営業利益 (前年同期累計比)

(単位:億円)

高機能素材系

Advanced-function materials



【電装・エレクトロニクス】 71 ⇒ 95(+24)

- (+) 新型車向けワイヤーハーネスが好調を継続
データセンター向けメモリーディスク材が堅調に推移
東京特殊電線の構造改革効果
- (-) 円安による輸入材の上昇

【金属】 -9 ⇒ -23(-13)

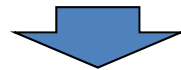
- (-) 銅箔; 車載用リチウムイオン電池用はHEV、PHEV向けに需要が拡大しつつあるが、競争が激化
国内から台湾への海外移管遅延
電力料金upによる採算悪化
銅条; めっき条製品の不振

【軽金属】 29 ⇒ 44(+15)

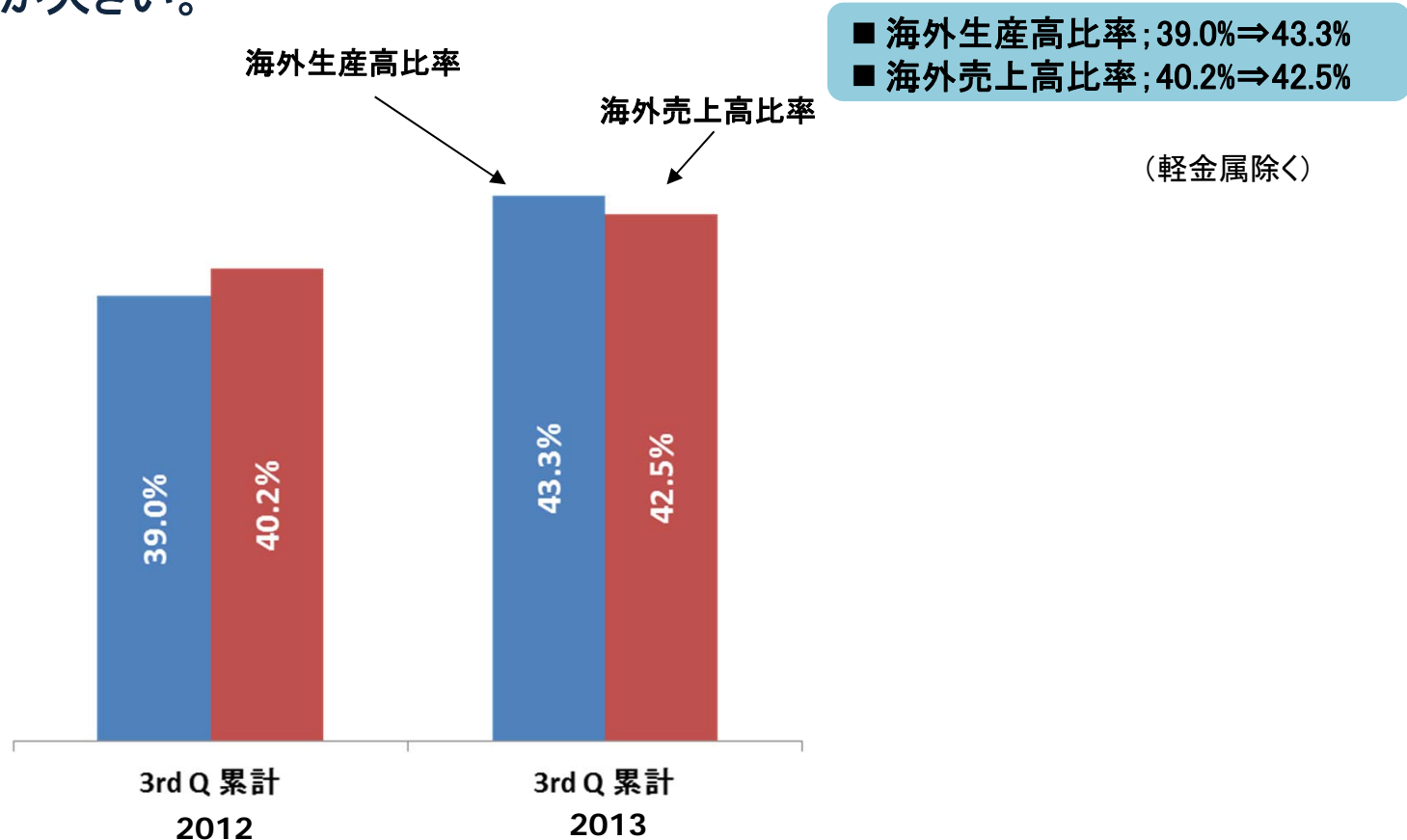
2013年10月1日付けで旧古河スカイは、旧住友軽金属との統合により、UACJとして持分法適用会社へ移行したため、営業利益44億円は、第2四半期までの累計のみ。

2. 海外生産高／海外売上高 (前年同期累計比)

国内生産コストアップ⇒生産の海外移管を急ぎ、コスト削減めざす



海外売上高比率の伸び(+2.3%)より、自動車部品関連を中心に海外生産高比率の伸び(+4.3%)の方が大きい。



3. 通期予想

■ 通期見通しは据置き

(単位:億円)

	FY2012 通期実績 A	FY2013 3rd Q 累計	FY2013 通期予想 B	B-A
売上高	9,247	6,932	9,400	+153
営業利益	178	176	250	+72
経常利益	176	212	240	+64
当期利益	36	71	50	+14
銅建値(円/Kg) 平均	696.4	752.4	750.0	+53.6
為替(円/ドル) 平均	79.81	96.83	100.00	+20.19

3. 通期予想 セグメント別営業利益

	FY2012 通期実績 A	FY2013 3rd Q 累計	FY2013 通期予想 B	B-A
情報通信	19	39	65	+46
エネルギー・産業 機材	20	12	10	-10
電装・エレクトロ ニクス	93	95	150	+57
金属	-13	-23	-30	-17
軽金属	44	44	44	+1
サービス等	15	8	11	-4
合計	178	176	250	+72

ご清聴ありがとうございました。



Bound to  ***Innovate***

将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況、ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、例として以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- ・米国、欧州、日本その他のアジア諸国の経済情勢、特に個人消費及び企業による設備投資の動向
- ・米ドル、ユーロ、アジア諸国の各通貨の為替相場の変動
- ・急速な技術革新と当社グループの対応能力
- ・財務的、経営的、環境的な諸前提の変動
- ・諸外国による現在及び将来の貿易規制等
- ・当社グループが所有する有価証券等の時価の変動

従いまして、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは大きく異なる場合があることをご承知おき下さい。なお、当社グループは、この資料の本リリース後においても、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。

著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、古河電気工業株式会社に帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

古河電気工業株式会社